

本資料は 2010 年 11 月 30 日に BASF(ドイツ本社)で発表されたプレスリリースの和訳です。

## ニュースリリース

2010 年 11 月 30 日  
BASF ジャパン株式会社

### **BASF と INEOS が、世界のスチレン市場をリードする合弁会社 STYROLUTION 社を設立**

- 新合弁会社の年間予想売上高は 50 億ユーロ以上
- 効率性、コスト削減、卓越したサービスにより、スチレン事業の顧客に多くのメリットを提供

2010 年 11 月 30 日 – BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)と INEOS Industries Holdings Limited(本社:英国リンドハースト、以下 INEOS)は、スチレン(SM)、ポリスチレン(PS)、アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン(ABS)、スチレン-ブタジエンブロック共重合体(SBC)と、共重合体のブレンド品、そして、他のスチレン系共重合体(SAN、AMSAN、ASA、MABS)に関わる両社のグローバル事業を新設の合弁会社 STYROLUTION(スタイロリューション)社へ統合する計画を発表しました。BASF、INEOS 両社とも 2010 年 11 月 29 日に同意書に署名しました。合弁会社の設立は、反トラスト当局の承認が条件となります。

BASF は以前より、2010 年末までにスチレン事業を分離し、別会社に移管することを発表しました。事業分離のプロセスは計画通りに継続され、2011 年 1 月 1 日をもって、BASF のスチレン事業は、STYROLUTION 社の名のもと別会社として運営されます。INEOS も、折半出資しているスチレン事業合弁会社 INEOS NOVA の残り 50%の株式を、NOVA Chemicals から取得することを発表しています。INEOS は、BASF との合弁会社が設立された時点で、これらの事業を STYROLUTION グループへ移管する予定です。

発泡ポリスチレンについては本件の対象とはならず、BASF と INEOS は、それぞれ従来通り、発泡ポリスチレン事業を継続します。ルートヴィヒスハーフェンにある BASF の発泡体生産に使用される SM/PS プラントは、南京に本拠を置く BASF-YPC 社の SM/PS 事業(中国)と同様、BASF が継続して運営します。

STYROLUTION 社は、グローバルなプレゼンスを持ち、効率性、コスト削減、そして、卓越したサービスにより、スチレン業界の顧客に数多くのメリットを提供いたします。

2010 年の業績に基づく STYROLUTION 社の年間予想売上高は 50 億ユーロを上回ります。本社はドイツのフランクフルト/マインに置かれ、株式は BASF と INEOS がそれぞれ 50%を保有する予定です。BASF は、取引完了後に現金による対価を受領します。両社はこれ以外の金銭的な詳細は非公開としております。

STYROLUTION 社の最高経営責任者(CEO)には、1987 年に BASF で自らのキャリアをスタートさせたロベルト・グアルドニ(54 歳)が就任する予定です。グアルドニは 2010 年 4 月、BASF のスチレン事業本部プレジデントに就任しています。新会社の最高財務責任者(CFO)には、クリストフ・デ・ラ・キャンプが就任します。デ・ラ・キャンプは 1994 年に BP p.l.c.で自らのキャリアをスタートさせており、2005 年に INEOS に入社しました。現在は、INEOS NOVA の最高財務責任者(CFO)を務めています。

BASF の取締役会メンバーであるマーティン・ブルーダーミュラーは、「INEOS との合弁による STYROLUTION 社の設立は、当社の積極的なポートフォリオ管理を推し進めるさらなる重要な一歩です。効率性、安全性、顧客サービス、製品の品質、競争力の点で世界のスチレン市場をリードする企業を設立することが当社の計画です。そのため、INEOS のような大規模なパートナーとの合弁による新会社の設立は、ビジネスを強化する上で最良の選択肢となります。製品や技術のポートフォリオと世界的な事業基盤の点で、両社は相互補完的な関係にあります」と述べています。

INEOS Capital の会長であるジム・ラトクリフは、「合弁会社の実現するイノベーションと成長の新たな機会は、お客様に計り知れないメリットをもたらします。世界規模の資産によって、持続可能で競争力の高いビジネスが確保されることで、急速に変化する市場の長期的なニーズに対応できます。これは、当社の長期的なスチレン事業戦略にも合致しています」と述べています。

### **群を抜く世界的ポジション**

BASF は、新しく設立される合弁会社に、SM、PS、ABS、SBC とスチレン系共重合体の事業を合弁会社に移管します。これには、ドイツ(ルートヴィヒスハーフェン、シュワルツハイデ)、ベルギー(アントワープ)、韓国(蔚山(ウルサン))、インド(ダヘジ)、メキシコ(アルタミラ)の生産プラントが含まれます。BASF はスチレン事業で約 1,460 人の従業員を雇用しており、2010 年の予想売上高は 30 億ユーロを上回ります。

INEOS は、ドイツ(ケルン)、スペイン(タラゴナ)、インド(ヴァドーダラー)、タイ(マプ・ザ・プット)の ABS 生産プラントのほか、カナダ(サーニア)、米国(インディアン・オーチャード、ジョリエット、ジケーター、テキサスシティ、ベイポート)、ドイツ(マール)、フランス(ウイングル)、スウェーデン(トレレポリ)にある INEOS および INEOS NOVA の SM および PS の事業を合弁会社に移管します。INEOS はスチレン事業で合計約 2,200 人の従業員を雇用しており、2010 年の予想売上高は約 20 億ユーロです。

BASF と INEOS は、本取引が完了するまでは、引き続き、それぞれ完全に独立した企業として事業を継続することになります。本取引の完了は、管轄の反トラスト当局による承認を待つ必要があり、2011 年の完了を想定しています。

### **製品ポートフォリオ**

スチレン(SM)は中間体製品です。無色の液体で、容易に重合します。

ポリスチレン(PS)は熱可塑性樹脂であり、使い捨て容器、各種電子機器、大型電化製品(冷蔵庫のインナーライナー、家庭用品)など、さまざまな用途で使用されています。

スチレン-ブタジエンブロック共重合体(SBC)は熱可塑性樹脂であり、透明で耐衝撃性と外観に優れ、主に食品包装用途で使用されるほか、展示用の包装に使用することも可能です。

アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン(ABS)は熱可塑性樹脂で、電気掃除機や電動工具など、耐熱性と耐衝撃性が求められるカラフルで美しい部品などに使用されます。その他の主な用途としては、自動車部品や携帯電話の筐体のほか、娯楽用途が挙げられます。

スチレン系共重合体(SAN、AMSAN、ASA、MABS)とブレンド品(ABS/PA、ASA/PA、ASA/PC)は熱可塑性樹脂で、自動車、ガーデニング用品、工具、家電製品、電子機器、通信機器、コンピュータなどで主に使用されています。

#### ■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標榜する世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASFは信頼に応えるパートナー企業として、化学を通じあらゆる産業のお客様のさらなる成功を支援しています。また、高付加価値製品と高度なソリューションの提供により、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、交通・運搬環境の改善といった世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2009年の売上は500億ユーロを上回り、従業員数は約10万5,000人です。BASFの詳細情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com)(英語)、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com)(日本語)をご覧ください。

#### ■ INEOS について

INEOSは世界第3位の化学品グループであり、石油化学製品、特別化学品、オイル製品のリーディングメーカーです。15の事業領域を持ち、世界13か国に51か所の生産ネットワークを展開するINEOSは、年間約4,000万トンの石油化学製品と、約2,000万トンの原油精製製品(燃料)を生産しています。INEOSの従業員数は約15,000人、年間売上は約290億ドルです。INEOSに関する詳しい情報は、<http://www.ineos.com>(英語)をご覧ください。

#### ■INEOS Industries Holdings Limited について

INEOS Industries Holdings Limited は INEOS AG 全額出資の子会社で、その傘下には、INEOS ABS、INEOS Styrenics、INEOS Melamines、そして、INEOS Bio の各社があります。INEOS Industries は、INEOS Group Limited には属していません。

本リリースに関する日本でのお問い合わせ先:

BASF ジャパン株式会社 コーポレート・コミュニケーションズ

クロス雅子

TEL: 03-3796-4864 / FAX: 03-3796-4111

[masako.cross@basf.com](mailto:masako.cross@basf.com)